

ことばのうみ

宮城県図書館だより

MIYAGI PREFECTURAL LIBRARY No.

40

2012.6



特集

宮城県図書館と
県内公共図書館とのつながり

写真は平成24年1月6日(金)にオープンした
名取市図書館「どんぐり子ども図書室」での作業
風景です。オープン前々日と前日である1月4日
(水)、5日(木)に図書の運び込み作業を行いました。
た。作業には名取市図書館の指示の元に、宮城県
図書館、save M.I.A.S. 宮城大学、東海大学、神奈
川大学、ボランティアネットワークなどから、延べ
70名ほどが当りました。

丘の上の図書館

小山 歩

3月1日、長男を産んだ。産休中に本をたくさん読
みたいと思っていたが、行きつけの書店は被災して
規模を縮小していたので、頻繁に図書館のお世話に
なった。

気仙沼の図書館は、海を見おろす丘の上、小学校と
中学校に挟まれるように建っている。私の母校だ。図
書館に通いながら、子どもの頃を思い出した。本を借
り過ぎて重いランドセルを背負って下った長い坂
道、いまは駐車場になった金魚の池と姫林檎の木。

震災は、この図書館にも傷跡を残した。流失した資
料は千点以上。建物自体も被災していて、母に手を引
かれて通った児童室や、受験勉強のためにこもった
自習室は、いまも閉鎖されたままだ。

一方で、全国から寄贈された本を被災者に提供す
るコーナーが作られ、震災後だからこそのわかる本の
有難みや、本好きの人の優しさを感じた。

傷ついても姿を変えてよみがえる、図書館の生命
力のようなものも。

いまは小さな息子も、やがて文字を覚えてあの坂
道をのぼるだろう。そのとき、丘の上の図書館はどん
な姿を見せてくれるだろうか。

(おやま あゆみ 気仙沼市職員)